

会告：おしらせ

第21回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会を下記の要領で開催致します。
多数の会員のご参加をお待ちしております。

会 期： 平成15年2月13日(木)、14日(金)、15日(土)

テーマ： アレルギー・免疫・炎症 ー上気道疾患におけるダイナミクスー

会 場： 城山観光ホテル 鹿児島市新照院町41-1
TEL：099-224-2211 FAX：099-224-2907
URL：<http://www.shiroyama-g.co.jp>

お知らせ 参加者の皆様へ

- 1 2月13日は、4階レインボーホール前に総合受付を設置します。
2月14,15日は、2階ロイヤルガーデン前に総合受付を設置します。
ここで会費1万円(懇親会費込み)を申し受けます。
- 2 会場では必ず名札の着用を御願い致します。
- 3 ご来場のおり、本抄録・プログラムをご持参下さい。当日本抄録・プログラムは受付にて販売いたします。
- 4 日本耳鼻咽喉科認定専門医の方は、学術集会参加票を必ずご持参下さい。
本制度の公正な運用を期する為、ご本人の確認をさせていただく場合がありますのでご了承下さい。
- 5 2月13日(木)教育研修会、サテライトシンポジウム終了後、
スポンサード懇親会をガーデンレストラン・ホルトにて開催致します。
- 6 2月14日(金)午前中の演題終了後、メイン会場の2階ロイヤルガーデン入口にて昼食(弁当)を配布(無料)させていただきます。
学会受付の際にお渡しする「昼食引き換え券」をお渡し下さい。
何卒、同会場での総会開催にご参加、ご協力御願い申し上げます。
- 7 会員懇親会は、2月14日(金)のポスターセッション終了後、
城山観光ホテル4階エメラルドホールにて開催致します。
- 8 2月15日(土)シンポジウム終了後、速やかにホテル玄関より
鹿児島空港までのバスを準備致します。
無料ですが、人数確認のための整理券を受付横にて発行致しますので、
乗車の際にチケット代わりに係りにお渡し下さい。

演者、座長の皆様へ（一般口演について）

発表時間は 7 分間、質疑応答は 3 分間です。時間厳守でお願いします。

スライドで発表（1 面）とコンピュータ発表（1 面）の両方を準備しておりますが、できるだけ、明るく見やすいコンピュータ発表を準備いただけるように御願ひ致します。

（１） スライド発表の皆様へ

口演 1 時間前までに、スライド受付にスライドをご持参下さい。なお当日朝 1 番のセッションは、開始 30 分前までにスライド受付に提出して下さい。スライドは、受付で各自ホルダーに入れて試写し、誤りのないことを確認の上、係員にお渡しし、預り証をお受け取り下さい。

スライドは、ライカ版（35 x 25 mm）の標準マウントで、スライドプロジェクター 1 台の映写といたします。スライド枚数の制限はございませんが、口演時間の厳守は重ねてお願い申し上げます。

発表後はすみやかに預り証と引き換えに、スライドをお受け取り下さい。

（２） コンピュータ発表の皆様へ

口演 1 時間前までに、受付にメディアをご持参下さい。メディアは、MO（125～640 MB）または、CDR にてお願い致します。

データーは、口演に使用するデーターのみとし、ファイル名に演題番号、演題名、メディアには、演者の名前、所属、OS・ソフト名を必ず明記して下さい。スライドショーの枚数制限はございませんが、口演時間の厳守は重ねてお願い申し上げます。

液晶プロジェクター 1 台にての映写となります。

コンピュータは、Macintosh(OS,X)と、PC (Windows 2000,XP) を準備いたします。ソフトウェアは、Microsoft Office 2001 or Xp を使用致します。フォントは OS 標準のフォントをご使用下さい。特殊なフォントをお使いの場合、表示されない場合がございます。

操作に関しては、技術員もお手伝いいたしますが、原則的にはスライド送り等は、演者席で演者ご自身に行っていただきます。

発表後はすみやかに預り証と引き換えに、メディアをお受け取り下さい。
データーは、必ずバックアップをご準備下さい。

(ポスター演題について)

ポスターのサイズは、!タイトル、 所属、 演者名用：たて x よこ、15 x 75 cm、

"発表内容用：たて x よこ、120 x 90 cmで御願い致します。

ポスターは、2月14日(金)午前9時より11時までの間に所定の番号(Pナンバー)のボードに掲示願います。押しピンは当方にて準備させていただきます。

2月14日(金)午前11時から午後5時まで、ポスター会場は開放されます。

2月14日(金)午後5時より、オーガナイザー(座長)を中心に質疑応答の時間を設けますので、演者は必ず参加して下さい。質疑応答は、3つのグループに分かれ同時に開始致します。演者によるコメント3分間、質疑応答を7分間とします。

ポスターは、2月15日(土)正午までに撤去願います。

問い合わせ先:

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1
鹿児島大学医学部耳鼻咽喉科学教室 黒野祐一
(事務局 松根彰志)

TEL : 099-275-5410 FAX : 099-264-8296

E-Mail : jiaojm@m3.kufm.kagoshima-u.ac.jp

第21回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会

会長 黒野祐一

年次幹事 松根彰志

2月13日（木）

9:00

10:00

11:00

12:00

理事会

13:00

評議員会

14:00

15:00

教育研修会・教育講演〔1〕
病原体侵入を感知するToll-like receptors その認識とシグナル伝達
審良静男 教授
大阪大学微生物研究所

16:00

教育研修会・教育講演〔2〕
樹状細胞：特異的免疫応答の正と負の制御
稲葉カヨ 教授
京都大学大学院生命科学研究科

17:00

グラクソ・スミソクライン国際交流基金 贈呈授与式
サテライト シンポジウム

18:00

小児のアレルギー性鼻炎の診断と治療
1 耳鼻咽喉科の立場から 大久保公裕 助教授（日本医大）
2 小児科の立場から 河野陽一 教授（千葉大学大学院）
追加発言 開業医の立場から 友永和宏 先生（人吉市）

19:00

スポンサード懇親会

（ガーデン ホルト）

20:00

2月14日（金）

	開会	
9:00	一般演題 口演	ポスター会場 エメラルドホール前 フロアー
	1 内耳免疫	
10:00	2 アレルギー薬剤	ポスター貼り
11:00	特別講演 感染性炎症を彩る新規メディエーター： アナンタマイドとHMG 丸山征郎 教授（鹿児島大 臨床検査学）	
12:00	昼食 メイン会場（ロイヤルガーデン）入口にて弁当配布	ポスター会場
13:00	総会	開放
	ミニシンポジウム 1	
14:00	上気道の自然免疫、 マクロファージ	
	ミニシンポジウム 2	
15:00	好酸球性炎症と病態	
	一般演題 口演	
16:00	3 好酸球性中耳炎・鼻副鼻腔炎	
	4 アレルギー/炎症基礎（1）	
17:00		ポスターセッション
18:00		
19:00		
20:00	学会懇親会 （エメラルドホール）	

2月15日（土）
鼻科学会理事会
7：30～9：00

9:00	ミニシンポジウム 3 腫瘍免疫
10:00	一般演題 口演 5 腫瘍免疫
11:00	6 ステロイド・マクロライド 7 アレルギー/炎症基礎（2）
12:00	ランチョン セミナー Molecular approaches toward development of safe mucosal vaccines J R McGhee 教授（米国 アラバマ大学）
13:00	ミニシンポジウム 4 る 免疫療法の基礎と応用
14:00	一般演題 口演 8 アレルギー/炎症基礎（3） 9 リンパ球と免疫応答
15:00	
16:00	シンポジウム 上気道疾患に対する粘膜免疫研究の 応用と展望 高橋一郎教授（広島大学大学院） 石光亮太郎（島根医大）、堀口茂俊（山梨大） 福山 聡（鹿児島大）、平野 隆（大分医大）
17:00	閉会・休憩 公開講座
18:00	内藤健晴 教授（藤田保健大） 白川太郎 教授（京都大学大学院） 金蔵卓郎 助教授（鹿児島大学） 赤坂 徹 先生（国療八戸病院 院長）
19:00	
20:00	公開講座 懇親会 (ガレリア)

空港バス
出発

**第21回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会
(および 教育研修会、公開講座) 演題予定表**

教育研修会

：4階 レインボーホール
2月13日(木) 14時45分～17時

- 1 「病原体侵入を感知する Toll-like receptors:その認識とシグナル伝達」
講師 審良 静男 教授 (大阪大学微生物病研究所)
司会 藤枝 重治 教授 (福井医科大学 耳鼻咽喉科)
- 2 「樹状細胞：特異的免疫応答の正と負の制御」
講師 稲葉 カヨ 教授 (京都大学大学院生命科学研究科)
司会 山中 昇 教授 (和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科)

グラクソ・スミスクライン国際交流基金 贈呈授与式

：4階 レインボーホール
2月13日(木) 17時5分～17時15分

サテライト シンポジウム

：4階 レインボーホール
2月13日(木) 17時15分～18時45分

シンポジウム テーマ 「小児のアレルギー性鼻炎の診断と治療」
司会 竹中 洋 教授 (大阪医科大学 耳鼻咽喉科)

- 1 耳鼻咽喉科の立場から
大久保 公裕 助教授 (日本医科大学 耳鼻咽喉科)
- 2 小児科の立場から
河野 陽一 教授 (千葉大学大学院 小児病態学)

追加発言

開業医の立場から
友永 和宏 先生 (熊本県 人吉市)

特別講演

： 2階 ロイヤルガーデン
2月14日（金） 11時～12時

「感染症性炎症を彩る新規メディエーター：アナンタマイドとHMG」

講師 丸山 征郎 教授（鹿児島大学 臨床検査学）
司会 大山 勝 名誉教授（鹿児島大学）

ランチョンセミナー

： 2階 ロイヤルガーデン
2月15日（土） 12時～13時

「Molecular approaches toward development of safe mucosal vaccines」

講師 Professor Jerry R. McGhee（アラバマ大学, USA）
司会 茂木 五郎 教授（大分医科大学付属病院長）

シンポジウム

： 2階 ロイヤルガーデン
2月15日（土） 15時30分～17時

「上気道疾患に対する粘膜免疫研究の応用と展望」

キーノートレクチャー	高橋 一郎 教授	（広島大学大学院）
1	石光 亮太郎 先生	（島根医科大学 耳鼻咽喉科）
2	堀口 茂俊 先生	（山梨大学 耳鼻咽喉科）
3	福山 聡 先生	（鹿児島大学 耳鼻咽喉科）
4	平野 隆 先生	（大分医科大学 耳鼻咽喉科）
司会	岡本 美孝 教授	（千葉大学大学院 耳鼻咽喉科）
	川内 秀之 教授	（島根医科大学 耳鼻咽喉科）

公開講座

： 2階 ロイヤルガーデン
2月15日（土） 17時15分～20時

- 1 喉頭アレルギーと類似疾患
講師 内藤健晴 先生（藤田保健衛生大学 耳鼻咽喉科 教授）
司会 氷見 先生（札幌医科大学 耳鼻咽喉科学 教授）
- 2 アレルギー疾患関連遺伝子解析の最近の話題
講師 白川太郎 先生（京都大学大学院 健康増進・行動学 教授）
司会 竹内 亨 先生（鹿児島大学 衛生学 教授）
- 3 アレルギーと好中球
講師 金蔵卓郎 先生（鹿児島大学 皮膚科 助教授）
司会 神崎 保 先生（鹿児島大学 皮膚科 教授）
- 4 小児気管支喘息・管理ガイドライン
講師 赤坂 徹 先生（国立療養所八戸病院 院長）
司会 熊本俊則 先生（国立指宿病院 副院長）

ミニシンポジウム (MS)

: 2階 ロイヤルガーデン

1 上気道における自然免疫 マクロファージ

2月14日(金) 13時30分～14時30分

座長 原田 保(川崎医大)、田村 学(大阪大)

- MS1 中丸裕爾
鼻アレルギー炎症局所におけるマクロファージ遊走阻止因子の発現
北海道大
- MS2 村田明道
マクロファージによる OK-432 の認識機構についての検討
島根医大
- MS3 假谷 伸
副鼻腔嚢胞におけるマクロファージ遊走阻止因子 (MIF) の検出
岡山大
- MS4 李 昊哲
CTL によるウイルス感染細胞の認識と傷害
大阪医大

2 好酸球性炎症の病態

: 2月14日(金) 14時30分～15時30分

座長 増山敬祐(山梨大)、ルビー パワンカワ(日本医大)

- MS5 野中学
グラム陽性菌とグラム陰性菌の菌体成分刺激による鼻茸線維芽細胞からの RANTES 産生について
日本医大
- MS6 飯野ゆき子
好酸球性中耳炎の中耳粘膜における好酸球遊走因子の発現
帝京大
- MS7 高橋昇
Ras 変異株導入による線維芽細胞における RANTES 産生の検討
福井医大
- MS8 牛飼雅人
アレルギー性炎症における好酸球浸潤と VCAM
鹿児島大

3 腫瘍免疫と扁平上皮癌

：2月15日（土） 9時～10時

座長 古川 仩（金沢大）、古屋信彦（群馬大）

MS9 近松一朗
p53 110-124 specific CD4+ T helper cells が自己癌特異的
CTL の induction phase と effector phase に及ぼす影響
群馬大

MS10 安松隆治
頭頸部扁平上皮癌における SCC 抗原の生物学的役割
福岡市民

MS11 片山昭公
頭頸部扁平上皮癌におけるケモカインレセプターに関する検討
旭川医大

MS12 吉崎智一
上咽頭癌における血清 EBV-DNA 量と抗 EBV 抗体価
金沢大

4 免疫療法の基礎と応用

：2月15日（土） 13時～14時

座長 間島雄一（三重大）、藤枝重治（福井医大）

MS13 盛川宏
スギ花粉症に対する舌下・嚥下免疫療法の有用性
獨協医大

MS14 湯田厚司
スギ花粉症の免疫療法における好塩基球ヒスタミン遊離抑制
三重大

MS15 大野伸晃
単一鎖 DNA による鼻アレルギーモデルマウスでの免疫応答の制御
名市大

MS16 山内一真
インフルエンザ菌外膜蛋白 P6 を用いた経鼻的母胎免疫による
新生児マウスへの特異的免疫応答の誘導
和歌山医大

ポスターセッション (P)

: エメラルドホール前 フロアー

シックハウス

座長 石戸屋淳一(横浜市立大学)

p 1 池田浩己
労働環境が原因と考えられたシックハウス症候群様症状を呈した2症例
日赤和歌山

p 2 小西一夫
シックハウス症候群の1症例
大阪市大

アレルギー疫学(1)

座長 榎本 雅夫(日赤和歌山), 池田 勝久(東北大)

p 3 増田勝巳
当科における鼻アレルギーの現況(第3報)
川崎医大

p 4 荻野 敏
Webサイトによる花粉飛散情報とアクセス数および患者動態
大阪大 保健学科

p 5 今井 透
花粉症患者動向に関する平成13年と14年の電子アンケート調査
聖路加国際

p 6 伊藤 周史
2002年スギ、ヒノキ科花粉のリアルタイム花粉モニター成績と気象条件
知多厚生

p 7 瀬野 悟史
和歌山市における2002年のリアルタイム花粉モニター
(KH-3000)の成績
滋賀医大

アレルギー疫学(2)

座長 荻野 敏 (大阪大 保健学科)、芳川 洋 (順天堂大)

- p 8 安田 繁伸
スギ花粉症と大気汚染 –疫学調査の結果から–
京府医大
- p 9 松崎 全成
口腔アレルギー症候群について–スギ・ヒノキ花粉症患者
–アンケート調査から–
山梨大
- p 10 小嶋 章弘
スギ花粉症における Quality of Life の評価 (QOL 調査票を用いて)
福井医大
- p 11 角谷 千恵子
アレルギー性鼻炎における医療経済学的研究
–スギ花粉症における支払意思と QOL の関連–
大阪大 保健学科
- p 12 石川 哮
通年性鼻アレルギー患者を対象とした QOL 調査
日本アレルギー協会

アレルギー / 免疫 症例

座長 武田憲昭 (徳島大)

- p 13 花満 雅一
当科における下鼻甲介レーザー手術の治療成績
滋賀医大
- p 14 佐藤賢太郎
スギ花粉症の下甲介粘膜の色調変化
北里大
- p 15 北村 剛一
アレルギー性鼻炎に対するネブライザー療法の検討
東医大
- p 16 樋口 榮作
喉頭全摘に至った喉頭帯状疱疹の一例
北海道大

扁桃・病巣感染(1)

座長 友田 幸一(金沢医大)、西崎和則(岡山大)

- p 1 7 高原 幹
掌蹠膿疱症扁桃における Smad の解析
旭川医大
- p 1 8 野澤 はやぶさ
掌蹠膿疱症末梢血における皮膚ホーミングレセプター CLA の発現
旭川医大
- p 1 9 林 正樹
扁桃病巣感染症における熱ショック蛋白に関する研究
～SCID マウスへのヒト扁桃リンパ球およびヒト皮膚移植による検討-第2報～
岸和田徳洲会
- p 2 0 今井 良吉
口蓋扁桃組織における抗菌ペプチド defensin の発現
札幌医大

扁桃・病巣感染(2)

座長 村上信五(名市大)、鈴木正志(大分医大)

- p 2 1 田村 学
扁桃誘発試験後のサーモグラフィーによる病巣扁桃の診断
大阪大
- p 2 2 横井 秀格
扁桃における肥満細胞, 好酸球の分布と機能
順天堂大
- p 2 3 後藤 浩伸
IgA 腎症患者における扁桃リンパ球のサイトカイン産生
済生会和歌山
- p 2 4 田中 紀充
扁桃および末梢血単核球における TLR についての検討
鹿児島大

好酸球性炎症
座長

長谷川 誠（杏林大）、朝倉光司（室蘭総合）

- p 2 5 定永 恭明
多発性好酸球性肉芽腫症の1例
熊本市民
- p 2 6 角南 貴司子
当院における好酸球性中耳炎症例
大阪市大
- p 2 7 稲川俊太郎
血清 ECP 濃度を指標にした好酸球性中耳炎症例の臨床評価
愛知医大
- p 2 8 鈴木元彦
スギ、ヒノキ花粉症による嗅覚障害について
名市大
- p 2 9 榎本冬樹
ラット好中球遊走能に対するクラリスロマイシンの影響
順天堂大

アレルギー / 炎症

座長 青柳 優（山形大）、平林秀樹（独協医大）

- p 3 0 山岸茂夫
鼻粘膜上皮細胞における $Fc \epsilon R 1$ の発現とその機能
日本医大
- p 3 1 El-HiniAhmed
The Expression of CC Chemokine Receptor 3
and 5 in Chronic Rhinosinusitis
東北大
- p 3 2 上村尚樹
鼻腔におけるケモカインレセプター mRNA の発現
大分医大
- p 3 3 森 繁人
アレルギー性鼻炎鼻粘膜における IL-8 receptor の発現
国立福井
- p 3 4 滝下照章
鼻粘膜におけるプロスタグランジ D2 合成酵素の発現とその局在
岡山大

内耳免疫

2月14日（金） 9時～9時50分

座長 山下裕司（山口大）、富山俊一（日大）

- 1 高木大
MPO-ANCA 陽性両側進行性難聴の臨床像
北海道大
- 2 菅原一真
HSF1 ノックアウトマウスに対する音響曝露について
山口大
- 3 富山俊一
実験的自己免疫性迷路炎
-whole gel eluter 分画内耳抗原による内耳抗体産生 -
日大
- 4 岡本昌之
「ふきのとう」摂食での難聴が疑われた症例
真生会富山
- 5 前田昌紀
反復性多発性軟骨炎の内耳障害
札幌社会保険

アレルギー薬剤：2月14日（金） 9時50分～11時

座長 馬場廣太郎（独協医大）、大久保公裕（日本医大）

- 6 北村嘉章
鼻過敏症動物モデルにおける鼻粘膜ヒスタミン H1 受容体 mRNA
発現上昇とヒスタミン H1 受容体拮抗薬による抑制
徳島大
- 7 都筑俊寛
ラマトロバンのスギ花粉症に対する単独投与の有用性の検討
一飛散前投与と飛散後投与の比較一
帝京大
- 8 今井 透
スギ花粉症に対するラマトロバンの効果
聖路加国際
- 9 石永 一
気道上皮細胞における NF-kappaB の活性化に対する Pranlukast の影響
三重大
- 10 片岡真吾
スギ花粉症に対する抗ヒスタミン薬とبرانلカストの併用療法について
島根医大
- 11 高橋淳人
気道上皮細胞によるケモカイン産生に及ぼすオキサトミドの影響
島根医大
- 12 仲野公一
花粉症に対する薬物療法の EBM
千葉大

好酸球性中耳炎 / 鼻副鼻腔炎

:2月14日(金) 15時30分～16時20分

座長 森山 寛(慈恵医大)、市村恵一(自治医大)

13 松谷幸子

好酸球性中耳炎と末梢血中好酸球数

仙台赤十字

14 佐久間康則

好酸球性鼻副鼻腔炎・好酸球性中耳炎の治療

横浜市大

15 山本美紀

好酸球浸潤を伴う慢性副鼻腔炎におけるアレルギー性鼻炎、
アトピー、気管支喘息の関与

岡山大

16 早水佳子

当科における好酸球性副鼻腔炎、中耳炎、喘息の合併例

鹿児島大

17 石戸屋淳一

好酸球性鼻副鼻腔炎における好酸球浸潤とサイトカイン・ケモカイン

横浜市大

アレルギー / 炎症の基礎 (1)

: 2月14日 (金) 16時20分~17時
座長 寺田修久 (千葉大)、岡野光博 (岡山大)

- 18 池田勝久
アレルギー性鼻炎における鼻粘膜の heme oxygenase- の発現と局
在
東北大

- 19 清水志乃
気道上皮細胞からの TGF β と VEGF 産生におよぼすトロンビンの影
響
三重大

- 20 櫻井真一
アレルギー性鼻炎における VEGF 産生と周細胞の役割
山形大

- 21 孫 東
鼻副鼻腔炎病態における低酸素と VEGF
鹿児島大

腫瘍免疫

: 2月15日 (土) 10時~10時40分
座長 山下敏夫 (関西医大)、青柳 優 (山形大)

- 22 坂倉浩一
HLA-A2 拘束性 anti-p53 322-330 specific CTL の誘導
群馬大

- 23 長門利純
鼻性 NK/T 細胞リンパ腫における IL-9 の発現
旭川医大

- 24 荻野 武
頭頸部癌細胞株における HLA class I 抗原と関連蛋白の発現解析
旭川医大

- 25 辻雄一郎
human T cell leukemia cell lineにおける caveolin の発現についての検
討
大阪医大

ステロイド / マクロライド

： 2月15日（土） 10時40分～11時30分

座長 夜陣紘治（広島大）、洲崎春海（昭和大）

- 26 白崎英明
ヒト鼻粘膜におけるステロイド受容体の発現と局在について
札幌医大
- 27 工藤睦男
鼻茸線維芽細胞におけるグルココルチコイドによるアポトーシス誘導
昭和大
- 28 竹野幸夫
培養副鼻腔上皮細胞における NF- κ B の活性化に対するステロイドの影響
広島大
- 29 寺尾 元
14 員環系マクロライドの NO 産生に対する効果について
都立荏原
- 30 金井憲一
鼻茸線維芽細胞の NO 産生に及ぼすマクロライド系抗生物質の効果
昭和大

アレルギー / 炎症の基礎 (2)

：2月15日(土) 11時30分～12時
座長 飯野ゆき子 (帝京大)

- 3 1 今野信宏
マウス鼻アレルギーモデルにおける ICOS の役割における検討
札幌医大
- 3 2 渡辺哲生
アレルギー性鼻炎患者の昆虫アレルゲンに対する血中 IgE 抗体
大分医大
- 3 3 吹野陽香
スギ花粉大量飛散前後の特異的 IgE 抗体価の変動
大阪大 保健学科

アレルギー / 炎症の基礎 (3)

：2月15日(土) 14時～15時
座長 氷見徹夫(札幌医大)、渡辺健介(独協越谷)

- 3 4 服部康人
ろ紙血特異的 IgE 測定に関する臨床的検討
大阪医大
- 3 5 太田伸男
木村氏病患者の末梢血 Th1, Th2, Tc1, Tc2 細胞の検討
山形大
- 3 6 岡崎 雅
アレルギー性鼻炎患者の末梢血 Th1, Th2, Tc1, Tc2 細胞
山形大
- 3 7 清水猛史
気道炎症の制御因子としてのプロスタグランジン E₂ の役割について
三重大
- 3 8 兵佐和子
鼻茸におけるシクロオキシゲナーゼ代謝
大阪医大
- 3 9 小西正訓
Alloiococcus otitidis に対するサーファクタント蛋白質 A(SP-A) の結合
札幌医大

p A .

F Q P T æ y j@ P T ` P T R O "
• . £ i fi a j

40 . c F
C t G UP6 O ` % T« E "
fi a

41 " l
v X ^ O WE2 (PGE2) Ø A Q ~ I s E §
" R

42 c T m
v X ^ O W2-CRTH2 • Ø R . ~ I s E
" R